

令和4年度 第2回扶桑町地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和4年8月26日（金）午後3:00～

場所：扶桑町役場2階大会議室

出席者：〈委員〉18名中17名

中部大学教授《会長》	磯部 友彦
犬山タクシー株式会社	長屋 涼
愛知県タクシー協会	松浦 秀則（代理：稲垣 貴思）
公益社団法人 愛知県バス協会	小林 裕之
犬山タクシー株式会社 運転手代表	永川 博之
扶桑町老人クラブ連合会代表	間宮 進示
扶桑町身体障害者福社会代表	源口 千秋
扶桑町山那地区代表	大滝 雅男
扶桑町北新田地区代表	長瀬 直子
中部運輸局愛知運輸支局	山内 三奈（代理：堺 啓太）
愛知県都市・交通局交通対策課	大林 益英（代理：八木 郁也）
愛知県一宮建設事務所維持管理課	渡邊 浩行
愛知県犬山警察署交通課	鈴木 光史
扶桑町副町長《副会長》	北折 廣幸
名古屋鉄道株式会社	花村 元気（代理：内藤 杏）
社会福祉法人 扶桑町社会福祉協議会	尾関 麻也
株式会社アイシン	杉山 仁（代理：杉浦 利春）

〈事務局〉4名

総務部長	兼松 和彦
政策調整課長	齊木 雅宏
政策調整課統括主査	林 幸弘
政策調整課統括主査	世古 直樹

会議資料：資料1－1：扶桑町地域公共交通計画策定における策定フローと各種ニーズ調査方法

資料1－2：扶桑町の公共交通に関する町民アンケートのお願い

資料1－3：「チョイソコふそう」会員アンケートのお願い

資料2：地域公共交通導入・地域公共交通計画策定スケジュール

資料3：扶桑町地域公共交通計画策定業務プロポーザル結果について

資料4：チョイソコふそう実証運用開始に向けて

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための諸連絡を行う。扶桑町地域公共交通会議の委員数 18 名に対し、本日は 17 名が出席されている。過半数を超えているので、本日の会議が成立していることを宣言する。代理出席と説明者の出席を報告。傍聴者について説明を行う。また、配付資料の確認を行う。

【磯部会長】 議事録署名者に間宮委員、長瀬委員を指名。

2 議題

協議事項

① 扶桑町地域公共交通計画策定について

【事務局】 事務局林統括主査より資料 1 に沿って説明

【北折委員】 アンケートについて、町民アンケートとチョイソコふそうのアンケートの対象者が被ると回答率が落ちるのではないかと。間隔を空ける、見た目を変えるなどする必要があるのではないかと。

【事務局】 町民アンケートとチョイソコの期間が短い為、見た目から違うものと分かるように配慮する。また、町民アンケートに、チョイソコ登録者には別途アンケートを送付する旨を記載する。アンケートの時期については、コンサルタントと協議していく。

【堺委員】 町民意見交換会はいつ頃実施する予定か。

【事務局】 令和 5 年 1 月ごろを予定している。

【堺委員】 参加者に偏りがないよう、幅広い意見を取り入れるようにすること。

【磯部会長】 今年度は色々な情報を集め、アンケートだけではなく、鉄道事業者やタクシー会社等の協力を得て情報集めをお願いしたい。ニーズを引き出せるように工夫すること。

【堺委員】 チョイソコふそうアンケートのP 6 問 3 について、改善アイデアというと記入が難しいので、不満の理由にした方が回答しやすいのではないか。

【事務局】 回答しやすいように改善する。

【磯部会長】 このようにスタートしていくということで、承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

② 地域公共交通導入・地域公共交通計画策定スケジュールについて

【事務局】 事務局林統括主査より資料 2 に沿って説明

【堺委員】 本格運行への手続きは時間に余裕を持って進めてほしい。申請には協議が整っていなければならないので、令和 5 年 4 月の会議で協議ができるように。

【磯部会長】 4 条許可申請の手続きについて少し前倒しで進めていくこととして、スケジュールを修正すること。

【磯部会長】 異議がなければ、全会一致で承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

報告事項

① 扶桑町地域公共交通計画策定業務プロポーザル結果について

【事務局】 事務局林統括主査より資料 3 に沿って説明

② チョイソコふそう実証運行開始に向けて

【事務局】 事務局林統括主査より資料 4 に沿って説明

【磯部会長】 住民説明会で不安点、質問、要望はあったか。

【事務局】 行き(チョイソコ)はいいが、帰りはどうすればいいのか、という質問が多かった。時間に余裕を持って(待ち時間も含めて)、あらかじめ予約して利用していただければ、という説明をした。タクシー補助はなくなるのか、という質問もあったが、別のサービスとして新しく追加するものなので、併用できる。また、運賃が高いのではないか、という意見があった。タクシーでもなくバスでもなく、その間の新たな乗り物として、金額の設定も新しい物としてご理解を得た。

【源口委員】 江南厚生利用者として意見する。患者は先生を選べないので、日によって終わる時間が違って読めない。できるだけタクシー、バスを使うという意識ではあるが、チョイソコを使えるよう検討してもらえたら良い。

【杉浦委員】 病院は終了時間が読めない。今のところ、待っていただくか、他の手段か、事前に予約しておいて遅れそうならキャンセルをして次の便を予約するという方法で対応いただいている。キャンセル料はかからないので。

【磯部会長】 始まってから色々問い合わせや相談が出てくると思うので、事務局、アイシンさん対応いただきたい。

【鈴木委員】 交通事故防止のお願い。8月から9月にかけて日没時間が早くなる。自動車、自転車等乗られる方は早めのライト点灯等、事故防止をお願いしたい。愛知県は事故が増えているので、交通事故防止をお願いしたい。

3 閉会

【事務局】 閉会の挨拶を行う。

令和 4 年 11 月 28 日

本書は、令和 4 年 8 月 26 日に開催された扶桑町地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 間宮進示

署名人 長瀬直子